

令和 6 年 1 0 月 7 日
地域振興部スポーツ振興課

第 42 回江東シーサイドマラソン大会におけるバス停の休止について

1 経緯

- ・これまで交通規制範囲内のバスの乗降は、ランナーの切れ目を見てスタッフが乗客を誘導
- ・前回大会から、乗客の安全確保のため、ランナー走行車線に退避エリアを設置



2 問題点

- ・ランナーの切れ目がなく、乗降できずバスが滞留
- ・運行遅延によるダイヤ乱れや業務体制への影響
- ・乗客とランナーが接触する危険性が排除できない
- ・都交通局からバス停の休止を求める要請



3 他区の状況

- ・都内のマラソン大会では、ほぼ全ての大会でバス運休、バス停休止を実施
例) MINATO シティハーフマラソン、新宿シティハーフマラソン
練馬こぶしハーフマラソン、世田谷 2 4 6 ハーフマラソン

4 対応

- ・交通規制範囲内にあるバス停 2 4 か所を休止する ※時間は想定休止時間
○明治通り 9 : 00 ~ 10 : 10 (夢の島 ~ 新砂二)
○永代通り 9 : 10 ~ 10 : 50 (江東運転免許試験場 ~ 木場駅)
○三ツ目通り 9 : 10 ~ 11 : 00 (木場六 ~ 辰巳駅)
- ・詳細については今後、都交通局と協議の上決定

5 区民に対する周知

- ・バス停休止について以下のとおり利用者への周知徹底を図る
区報、HP、SNS、周辺住民へのポスティング、沿道町会・自治会への周知
バス車内広告掲載、影響のある全バス停に周知ポスター掲示 など